

■まいスキツ！連載

# 家【の匠

「未来のすまい」

今回でまいスキツ！も最終号ということで、未来の住まいについて書いてみたいと思います。

人はいつ頃から家をつくり住むようになったのでしょうか？たぶん、人類が誕生してから形は変われど、家に住んできたと思います。原始時代の洞窟からはじまり、縄文時代には木や竹等を使って壁や屋根を造り、現代の家の形がではじめました。そして、時代が進むにつれて高床にしたり、畳を敷いたり、屋根の耐久性から瓦を葺いてみたりと、技術の発展や生活の知恵により家の形や仕様は変化してきました。今は当たり前ですが、衛生面から家の外や端に設置してあったトイレなども住宅内に設置されるようになりました。このトイレの変化が一番画期的ではなかったでしょうか？技術の進歩のおかげです。

最近ではデザイン住宅やゼロエネルギー住宅などが建てられています。これからは、人工知能(AI)を使ったサービス住宅などが建てられ、生活の質を向上させる住宅になってくるのではないのでしょうか？



では、そもそも何のために家をつくるかという  
と野生動物などから身を守ることははじまり、雨、  
風、雪、太陽、自然から身を守るため、食料を保管  
するためだったと思います。最近は見栄えだけの  
デザイン重視の家が多い気がします。家は人の  
生命、財産を守るものです。家に一番必要なのは、  
寒さ暑さから身を守る断  
熱性、二番目は住む人を  
危険から守る耐震性だと思  
います。断熱性がよければ、  
光熱費も抑えられCO<sup>2</sup>の  
排出も削減でき地球にも  
優しくなります。

匠堂では、断熱は財産と  
考えて、断熱性があり耐震  
性もあり、しかも時代にあ  
うデザインを追求して、住  
む人がずっと笑っていら  
れる家づくりを頑張りたい  
と思います。

北村工務店 一級建築士事務所  
建設業許可

URL: <http://e-takumido.com>

住：米原市顔戸 1361-20  
Tel: 0749-50-3208  
直通電話 090-5050-1093  
営：8:00~21:00  
休：無休 駐：有



匠と創る家づくり

TAKUMIDO